

第3回 雪害に強い果樹産地づくり検討会 議事概要

- 1 日時：令和8年7月2日（木）14:00～15:00
- 2 場所：東北農政局7階会議室（オンライン併用）

3 検討会構成員

（東北農政局管内6県）

三上 一哉	青森県農林水産部りんご果樹課長
伊藤 一成	岩手県農林水産部農産園芸課総括課長
伊藤 晋	宮城県農政部園芸推進課長
石澤 浩樹	秋田県農林水産部園芸振興課長
安達 栄介	山形県農林水産部園芸大国推進課課長補佐
大高 圭申	福島県農林水産部園芸課主幹兼副課長

（農林水産省）

羽石 洋平	農産局果樹・茶グループ長
○岩崎 光徳	農林水産技術会議事務局研究統括官付研究専門官
宇佐美 直樹	東北農政局生産部園芸特産課長

（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）

◎岩波 宏	果樹茶業研究部門リンゴ研究領域長
-------	------------------

◎：座長 ○：座長代理

4 議題

中間取りまとめ（案）について

5 検討会における主な意見

- ・雪害を受けないという対策を場面場面でしていきたいと思う。除雪については、難しい面もあるが、市町村と相談しながら模索していきたいと思う。
- ・技術的対策カタログについては、雪害対策のためだけではなく、省力樹形の推進に向けても活用していきたいと思う。苗木の需給のマッチングの実現に向けて進めていきたいし、県としても活用したいと思う。
- ・苗木の関係について、情報収集に着手し始めた。近い将来、苗木に関する取組が重要になるかと思うので、試験研究機関と進めていきたい。
- ・今回の雪害を踏まえながら、雪害に強い樹形の導入も含め、雪害に強い産地への転換を進めていきたい。
- ・今回の中間取りまとめの方向に沿った形で進めてまいりたいと思う。技術的対策カタログについて、有効利用していきたいと考えている。苗木についても、今後の需給調査に期待している。
- ・技術的対策カタログにある技術については、産地にとって役に立つ情報ではないかと思っている。雪に耐性がない産地でもあるので、新しい樹形の推進を進めていき

ながら、産地の推進をしていきたいと考えている。

6 閉会のあいさつ

鈴木農林水産大臣より、中間取りまとめや技術的対策カタログは本検討会の成果であり、これからは生産現場とともに雪に強い産地を作っていくことが重要であり、雪害に強い果樹の産地づくりは将来にわたり東北地方の果樹産地が持続的に発展し、地域そのものが持続可能になるものとして、これまでの議論に感謝するとともに、今後の取組に期待する旨のあいさつ。

以上